

Q1.

回答用ID（調査依頼状に記載）をご入力ください。回答者は特定されません。

※複数のお子様が調査依頼状を持ち帰った場合、どなたか1枚の調査依頼状に記載されている回答用IDを入力してください。

IDの入力がなかった場合、回答は無効として処理されますのでご注意ください。

Q2.

本調査依頼状を持ち帰ったお子さま全員が通っている学校を選択してください。

1～7の選択肢の中から、あてはまるものすべてを選択

【必ず回答】（複数選択）

1. 未就学（認定こども園、保育園、幼稚園など）
2. 鳥飼小学校
3. 鳥飼西小学校
4. 鳥飼北小学校
5. 鳥飼東小学校
6. 第二中学校
7. 第五中学校

Q3.

本調査依頼状を持ち帰ったお子さま全員の学年を選択してください。

1～10の選択肢の中から、あてはまるものすべてを選択

【必ず回答】（複数選択）

1. 未就学
2. 小学1年生
3. 小学2年生
4. 小学3年生
5. 小学4年生
6. 小学5年生
7. 小学6年生
8. 中学1年生
9. 中学2年生
10. 中学3年生

ご回答いただく前に、鳥飼地域の児童数及び学級数についての説明をお読みください。

鳥飼地域の児童数及び学級数について

現在、安威川以南の児童・生徒数に減少傾向が見られ、特に第五中学校区（鳥飼小学校、鳥飼東小学校）における減少は顕著である状況です。

学校教育法施行規則では、小中学校の学級数は12学級以上18学級以下が標準とされており、

この標準より少ない学校を「小規模校」といいます。

①小学校について

鳥飼地域の小学校では、鳥飼小、鳥飼東小が小規模校となっています。

②中学校

生徒数減少に伴い、第二中は2047年までは国が定める標準学級数を満たしていますが、第五中は既に小規模校となっており、今後も減少を続ける見通しとなっています。

Q4.

小中学校の適正規模について、お聞きします(Q4～Q11、Q14～Q15)

児童・生徒にとって、1学年あたりの学級数について、最も望ましいと思うものを教えてください。

1～5の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 1学級（クラス）
2. 2学級（クラス）
3. 3学級（クラス）
4. 4学級（クラス）
5. 5学級（クラス）以上

Q5.

Q4で回答した理由について、あなたの考えに近いものを教えてください。

1～9の選択肢の中から、あてはまるものすべてを選択

【必ず回答】（複数選択）

1. 児童・生徒の人間関係が深まりやすい。
2. 教職員の目が届きやすく、きめ細かい指導を受けやすい。
3. 異学年間の教育・交流活動の機会が多くなりやすい。
4. 学校行事やクラブ活動等において、活動の機会が多くなりやすい。
5. 施設・設備、教材等を、余裕をもって利用できる。
6. 多様な人や考えに触れ、社会性や協調性を身につけることができる。
7. 運動会や学習発表会等の学校行事に活気が生じやすい。
8. 競争意識が働き、児童生徒がお互いに切磋琢磨できる。
9. その他

Q6.

児童・生徒にとって、1学級あたりの学級の人数は、どのぐらいが望ましいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを教えてください。

1～6の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 10人以下

2. 11人～20人
3. 21人～25人
4. 26人～30人
5. 31人～35人
6. 36人～40人

Q7.

Q6の回答をされた理由として、あなたの考えに近いものを教えてください。

1～8の選択肢の中から、あてはまるものすべてを選択

【必ず回答】（複数選択）

1. 児童・生徒一人一人に目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい。
2. 学校行事やクラブ・委員会活動において、児童・生徒一人一人の個別の活動機会を設定しやすい。
3. クラス内の絆が強まる。
4. 施設・設備を余裕をもって利用することができる。
5. 多様な考え方に触れ、社会性や協調性を身につけることができる。
6. クラス内での人間関係の幅が広がる。
7. 切磋琢磨しながら「力」を伸ばしやすい環境である。
8. その他

Q8.

児童数の減少により、学級の人数が減少することが予想されます。その影響に対するあなたの考えに最も近いものを教えてください。

1～8の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 少人数の学級は、先生の目が行き届くので、きめ細かい教育やいじめなどの早期発見が可能になる。
2. クラス替えができないことで交友関係が固定化され、人間関係づくりの能力に悪影響である。
3. 少人数の学級は、まとまりやすく仲間意識が強まり、違う学年同士の付き合いがしやすい。
4. 少人数の学級は、運動会や発表会で活躍する機会が増える。
5. 多人数の学級だからこそ得られる、多様な意見（多様性）が得られない。
6. 団体競技や合唱などの多人数が必要な学習や経験の機会が減り、集団行動などが苦手になると思う。
7. 少人数の学級は、競争意欲が働かなくなると思う。
8. その他

Q9.

他市では少子化により複数学年（例 1・2年合同、3・4年合同など）で授業をする複式学級を取り入れている事例があります。複式学級になることについて、あなたの考えに最も近いものを教えてください。

1～8の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 異なる学年が1つの学級となり、児童が相互に学び合うため、自主性が身につく。
2. 年齢に関係なく友達ができる。
3. 競争意識を持たせることができない。
4. 教育効果を考えると、多種多様な意見を得られない。
5. 複数学年の指導に当たる教員の負担が増す。
6. 複式学級に通わせるのは不安である。
7. 学年差（ギャップ）による授業理解度の低下や交友関係に不安がある
8. その他

Q10.

小中学校の児童数が今後さらに減少する場合、小規模校についてはどのようにすることが望ましいと考えますか。あなたの考えに最も近いものを教えてください

1～5の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 適正配置（※1）を行い、1学級あたりの児童・生徒数の確保を行う。
2. 適正配置を行うべきだと思うが、子どもの交友関係や通学への影響など課題がある。
3. 児童・生徒数が1クラス10人以下まで減少してから、適正配置を行うべきである。
4. 児童・生徒数や学級数が減少しても、適正配置を行わない。
5. その他

※1 適正配置 : 通学区域見直しや学校統合など

Q11.

Q10の回答をされた理由について、あなたの考えに最も近いものを教えてください。

1～11の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. クラス替えができることで人間関係が固定化されにくく、多様な考えに触れ人間関係づくりの能力が高まる。
2. 大きな集団の中でクラス対抗競技（集団競技）や音楽の合唱などの、教育活動の幅が広がる。
3. 学校に配置される教職員が増えるため、教職員の校務の負担が分散化され、授業準備や教材研究の時間、児童とふれあう時間が多くなる。
4. 学校施設の維持管理には多額のコストがかかるので、その分を他の教育施策へ回す方がよい。
5. 全ての児童が顔見知りであることなどから、学校としてまとまりやすい。
6. 学校として、児童一人一人の生活実態が把握しやすいことから、家庭との連携がとりやすい。
7. 1クラスの児童数が少なければ、一人一人にきめ細かい指導を行いやすい。
8. 学校は地域とともに歩んできた歴史があり地域の衰退につながる。
9. 学校は、地域コミュニティの核であり、防災拠点としての位置づけが強い施設である。
10. 登下校時における子どもの安全が不安である。
11. その他

Q12.

小学校の通学時間や通学方法について、お聞きします。(Q12～Q13)

子どもの(徒歩の)通学時間として、どの程度までが許容範囲だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを教えてください。

1～5の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 1.0km (徒歩約 20 分、自転車 6 分) 以内
2. 1.5km (徒歩約 30 分、自転車 9 分) 以内
3. 2.0km (徒歩約 40 分、自転車 15 分) 以内
4. 3.0km (徒歩約 60 分、自転車 25 分) 以内
5. 4.0km (徒歩約 80 分、自転車 35 分) 以内

Q13.

Q12 の回答以遠(徒歩の許容範囲外)の場所に学校がある場合、通学のためにどのような配慮が必要であると思いますか。あなたの考えに最も近いものを教えてください。

1～6の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 徒歩でも構わない
2. 自転車
3. 公共交通機関
4. スクールバス
5. 保護者等の送迎
6. その他

Q14.

学校の適正規模・適正配置について検討する上で、最も重視すべきと思うものを教えてください。

1～7の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 登下校時の安全性
2. 通学距離に応じた通学方法
3. 地域コミュニティとのつながり
4. 児童生徒の友人関係
5. それぞれの学校における特色のある教育活動等を活かす
6. 特色のある学校施設づくり (ハード面での整備)
7. その他

Q15. そのほか、学校規模適正化に係ることでご意見がありましたら、ご記入ください。

(自由記述)

Q16.

ご家族のことをお聞きします。(Q16～Q17)

鳥飼地域の居住年数を教えてください。

1～7の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 1年未満
2. 1年以上5年未満
3. 5年以上10年未満
4. 10年以上20年未満
5. 20年以上
6. 鳥飼地域以外
7. わからない

Q17.

鳥飼地域での居住意向を教えてください。

1～6の選択肢の中から、あてはまるもの1つを選択

【必ず回答】

1. 鳥飼地域外への転居の予定はない。
2. 子どもが中学校を卒業するまで、転居の予定はない。
3. 子どもの進級や進学タイミングで、鳥飼地域外に転居する予定である。
4. 数年以内に、鳥飼地域外に転居する予定である。
5. 鳥飼地域内に転居する予定である。
6. わからない

Q18.

そのほか、教育に係ることでご意見がありましたら、ご記入ください。

(自由記述)